



はっ た まさ とし  
**八 太 正 年**

じゅうみんしゅうとうしぎだん  
**自由民主党市議団**

### 工事の発破作業による被害家屋の現状復帰を

**問** 平成26年10月の美杉地域のトンネル工事において、発破作業により、現場付近の民家にひびが入る被害が発生した件について、被害を受けた方への補償の遅れにより、家屋に腐食が生じている。

被害を受けた方は、金銭補償ではなく、原状復帰を求めているが、どのように対応するのか。

### 今後も引き続き交渉を進めていく

**答** 事故から約5年が経過しており、担当職員が出向いた際に、被害を受けた方から、家屋の一部が腐食し、補修されたと、お聞きしている。

補償交渉が長引き、本当に申し訳なく思っている。

今後も、引き続き、ご理解いただけるよう交渉を進めていく。



### ●その他の質疑・質問●

○ズリ（物品）について

●「新最終処分場建設工事および道路工事にて利活用すべく」三重県から津市に引き渡されたものであるにもかかわらず、地方自治法第239条に規定する物品に当たらないとする根拠は

○白山地域内の道路の管理状況について

○最終処分場について

○海岸堤防について など



▲補償の遅れにより腐食が生じている民家（玄関）



ほり ぐち じゅん や  
**堀 口 順 也**

こうめいどうきいんだん  
**公明党議員団**

### 「SDGs経営」を推進する取り組みを

**問** 17の目標からなるSDGsは、193の国連加盟国全てが合意している「未来の形」「未来の姿」で、2030年に向けた世界共通の「成長戦略」とも言える。その意味で、SDGsが示す未来に基準を置いた企業経営こそ、SDGs経営である。

津市で頑張っていたいただいている中小企業の皆さまにも、SDGs経営に携われるよう旗振りをお願いしたいが、いかがか。

### 市内企業への啓発、周知に努めていく

**答** SDGs経営は、持続可能な開発目標として、社会課題の克服や社会貢献に即した企業経営を目的としており、その実現、達成に向けた取り組みが今後の企業にとって、持続的に成長し、価値を高めながら新たなビジネスチャンスの獲得につながる、非常に重要で有益な取り組みであると認識している。

今後は中小企業のSDGsへの取り組みに関するニーズも把握しながら、津商工会議所など関係団体と連携しつつ、SDGs経営についてや、先進的企業の取り組み状況に関する情報提供など、市内企業への啓発、周知に努めていく。

### ●その他の質疑・質問●

○「ジャパンSDGsアワード」への応募の考えは

○「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」への加盟を

○「アドプト制度」の導入で市民参加型SDGsを

○民間の店舗で「認知症カフェ」の開催を

○想定浸水深や避難所を明記した標識「まるごとまちごとハザードマップ」の設置を など



▲想定浸水深を記した「まるごとまちごとハザードマップ」